



Title: 中央図書館、貸し出し倍増中!

恥ずかしながら生まれて初めて講演会なるものをしました。講演になっていたかどうか定かではありませんが、それにしても人生2番目くらいにキンチョーしました。やはり向いていないので、二度とやりません。とはいうものの後半駆け足になってしまって、話し足りない気分もあったりするのですが。

❖今なら10冊・10巻

皆さん、大型連休いかがでしたか?

市立図書館は花矢、比内、田代の3館は祝日休館でしたが、中央図書館は通常の日曜日以外休まずに開館していました。その代わりに、というわけではないのですが、中央図書館は10月6日(火)から11日(日)まで休館します。通常休館日を含めると5日から12日までですね。これは図書整理のための期間です。蔵書点検や書架の整理・清掃、備品の虫干しなどを行います。休館していても仕事は山ほどしていますので、どうかご了承ください。なお、休館中でも返却はできます。正面入口前の返却ボックスへどうぞ。中央以外の3館は開館していますので、そちらへの返却でも結構です。

一週間の休館に合わせて、中央図書館は貸し出し冊数を倍に増やします。貸し出しが倍になる期間は9月22日(火)から10月4日(日)まで、ということでもう始まっています。この期間は図書10冊まで、紙芝居も10巻まで借りられます。通常2週間の貸出期間も3週間に延長しますので、たくさん借りてたくさん読んでくださいね。ただし、市外の図書館から借り受けた本の貸出期間は普段どおり2週間ですので悪しからず。

❖タイトルはむずかしい

前回のコラムのタイトルは「9・11は谷啓を偲びながら」というものでした。クレージーキャッツとか『シャボン玉ホリデー』の話かと思った方(結構いるだろうなあ)、すみませんでした。本文とは何の関係もなく付けたタイトルです。掲載日が9月11日なので、テレビでは同時多発テロや大震災から4年半といった話題が多いだろうけど、そういえば谷啓の命日だよなあと本棚の『七人のネコとトロンボーン』(読売新聞社、1995年)を手にとってパラパラやったものですから、つい。

思い起こせば1979(昭和54)年9月3日夜、落語家の六代目三遊亭圓生が亡くなりました。4日の新聞には間に合わず5日に死亡記事が載りましたが、一面に大きく載っていたのは御前口演もした昭和の名人でなく日本に初めて来たパンダ、ランランの訃報だった……、なんてこともありましたね。

そういえばキューテンイチイチとかサンテンイチイチとか、古くはゴーイチゴとかニイニイロクとか、日付を記号化するのはどうして明るくない事件や災害ばかりなんでしょうね。

また脱線してますね。タイトルの話でした。このコラムは大体2つか3つのトピックを扱うことが多いのですが、全体のタイトルは初めから決まっていることは稀で、

大概は最後まで決まりません。本文のトピックで一番言いたいことにすれば、と思うかもしれませんが、「マナーを守りましょう」とか「本を濡らさないで」なんていうタイトルでは、私のファン（もしいたらですが）以外は読む気になりませんよね。タイトルは、できるだけ内容に沿って、しかもキャッチーであるとともにウィットに富んで、なおかつ筆者の知性や教養がにじみ出る（というかあるように見せる）ものにしたい。それじゃあなかなか決まらないわけです。ということで、結局時間切れでエイヤッとつけてしまい、結果ヘンなタイトルになることもあるというわけで。

結論としては、タイトルはあまり気にしないでくださいね、というところです。比べるわけではありませんが、柳家喬太郎さんによれば落語の演題だって結構テキストにつけたのが多いんですから。（陽）